

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年8月9日(2012.8.9)

【公開番号】特開2010-59403(P2010-59403A)

【公開日】平成22年3月18日(2010.3.18)

【年通号数】公開・登録公報2010-011

【出願番号】特願2009-170779(P2009-170779)

【国際特許分類】

C 0 8 F 220/28 (2006.01)

A 6 1 K 8/90 (2006.01)

A 6 1 K 8/81 (2006.01)

A 6 1 K 8/891 (2006.01)

A 6 1 K 8/31 (2006.01)

A 6 1 K 8/73 (2006.01)

A 6 1 K 8/67 (2006.01)

A 6 1 K 8/42 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

A 6 1 Q 1/04 (2006.01)

A 6 1 Q 3/02 (2006.01)

A 6 1 Q 1/10 (2006.01)

A 6 1 Q 5/12 (2006.01)

A 6 1 Q 1/02 (2006.01)

A 6 1 Q 17/04 (2006.01)

A 6 1 Q 19/04 (2006.01)

A 6 1 Q 5/06 (2006.01)

A 6 1 Q 1/06 (2006.01)

A 6 1 Q 1/12 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 220/28

A 6 1 K 8/90

A 6 1 K 8/81

A 6 1 K 8/891

A 6 1 K 8/31

A 6 1 K 8/73

A 6 1 K 8/67

A 6 1 K 8/42

A 6 1 Q 19/00

A 6 1 Q 1/04

A 6 1 Q 3/02

A 6 1 Q 1/10

A 6 1 Q 5/12

A 6 1 Q 1/02

A 6 1 Q 17/04

A 6 1 Q 19/04

A 6 1 Q 5/06

A 6 1 Q 1/06

A 6 1 Q 1/12

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月25日(2012.6.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

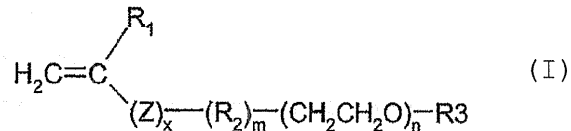
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

互いに非融和性である、少なくとも一の第1のブロックと少なくとも一の第2のブロックを含有し、一方のブロックが20以下ガラス転移温度(T_g)を有し、式(I)：



[上式中：

- R_1 は、水素原子又はメチル基であり；
- Z は、 $-COO-$ 、 $-CONH-$ 、 $-CONCH_3-$ 、 $-OCO-$ 、 $-O-$ 、 $-SO_2-$ 、 $-CO-O-CO-$ 、及び $-CO-CH_2-CO-$ から選択される二価の基であり；
- x は、0又は1であり；
- R_2 は、飽和又は不飽和、場合によっては芳香族、直鎖状、分枝状又は環状で、O、N、S、F、Si及びPから選択される1～18のヘテロ原子を含有可能な、1～30の炭素原子の炭素ベースの二価の基であり；
- m は、0又は1であり；
- n は、3～300を含む整数であり；
- R_3 は、水素原子、又は飽和又は不飽和、場合によっては芳香族、直鎖状、分枝状又は環状で、O、N、S、F、Si及びPから選択される1～20のヘテロ原子を含有可能な、1～30の炭素原子の炭素ベース基である]

の少なくとも一のモノマーを、該ブロックの重量に対して0.5重量%～100重量%含有するブロックポリマー。

【請求項2】

前記第1及び第2のブロックが、第1のブロックの少なくとも一の構成モノマーと第2のブロックの少なくとも一の構成モノマーを含有する中間セグメントを介して、互いに結合している、請求項1に記載のポリマー。

【請求項3】

厳密には20を越える T_g を有する少なくとも一のブロックを含有している、請求項1又は2に記載のポリマー。

【請求項4】

式(I)において：

- $x = 1$ であり、 Z は COO 又は $CONH$ を表し、及び/又は
- R_2 は、1～20の炭素原子を有するアルキレン基；O、N、S、F、Si及びPから選択される1～18のヘテロ原子を有していてもよい、C1-C12アルキル基で置換されていてもよいフェニレン基- C_6H_4 -(オルト、メタ又はパラ)；O、N、S、F、Si及びPから選択される1～18のヘテロ原子を有していてもよい、C1-C12アルキル基で置換されていてもよいベンジレン基- $C_6H_4-CH_2-$ を表し；及び/又は
- n は5～200であり；及び/又は
- R_3 は、水素原子；O、N、S、F、Si及びPから選択される1～20のヘテロ原子を有していてもよい、C1-C12アルキル基で置換されていてもよいフェニル基；O、N、S、F、Si及びPから選択される1～18のヘテロ原子を有していてもよい、C1-C30、特にC1-C22、又はC2-C16アルキル基；O、N、S、F、Si及び

P から選択される 1 ~ 18 のヘテロ原子を有していてもよい、C 3 - C 12、特に C 4 - C 8、又は C 5 - C 6 シクロアルキル基である、請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載のポリマー。

【請求項 5】

式 (I) のモノマーが、

- x = 1 であり、Z は C O O を表し、及び
- m = 0 であり、及び
- n = 6 ~ 120 であり、及び
- R 3 は、水素原子；C 1 - C 12 アルキル基で置換されていてもよいフェニル基；C 1 - C 30、特に C 1 - C 22、又は C 2 - C 16 アルキル基から選択される；

ものである、請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項に記載のポリマー。

【請求項 6】

式 (I) のモノマーが：

- R 1 が H 又はメチルであり；Z が C O O であり、x = 1、m = 0 及び R 3 = H である、ポリ(エチレングリコール)(メタ)アクリラート；
- R 1 が H 又はメチルであり、Z が C O O であり、x = 1、m = 0 及び R 3 = メチルである、メトキシ-ポリ(エチレングリコール)(メタ)アクリラートとしても公知の、メチル-ポリ(エチレングリコール)(メタ)アクリラート；
- R 1 が H 又はメチルであり、Z が C O O であり、x = 1、m = 0 及び R 3 = アルキルである、アルキル-ポリ(エチレングリコール)(メタ)アクリラート；
- R 1 が H 又はメチルであり、Z が C O O であり、x = 1、m = 0 及び R 3 = フェニルである、ポリ(エチレングリコール)フェニルエーテル(メタ)アクリラートとしても公知の、フェニル-ポリ(エチレングリコール)(メタ)アクリラート；

から選択される、請求項 1 ないし 5 のいずれか 1 項に記載のポリマー。

【請求項 7】

式 (I) のモノマー又はこのようなモノマーの混合物が、20 以下の T_g を有するブロックを形成するモノマーの全重量に対して 0.7 重量% ~ 95 重量%、特に 1 重量% ~ 90 重量%、さらには 5 重量% ~ 87 重量%、より好ましくは 10 重量% ~ 85 重量%である、請求項 1 ないし 6 のいずれか 1 項に記載のポリマー。

【請求項 8】

25000 ~ 1000000、好ましくは 30000 ~ 750000、さらには 40000 ~ 500000、特に 50000 ~ 250000 の重量平均分子量(M_w)を有する、請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載のポリマー。

【請求項 9】

2 を越える、特に 2 ~ 9 の範囲、好ましくは 2.5 以上、特に 2.5 ~ 8 の範囲、さらに好ましくは 2.8 ~ 7 の範囲の多分散度を有する、請求項 1 ないし 8 のいずれか 1 項に記載のポリマー。

【請求項 10】

請求項 1 ないし 9 のいずれか 1 項に記載の少なくとも一のブロックポリマーを、化粧品的に許容可能な媒体に含有せしめてなる化粧品用組成物。

【請求項 11】

ブロックポリマーが、単独で又は混合物として、組成物の全重量に対して 1 重量% ~ 45 重量%、特に 2 重量% ~ 40 重量%、さらには 3 重量% ~ 35 重量%の割合で、本発明の組成物に存在する、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 12】

化粧品的に許容可能な媒体が、揮発性又は非揮発性で、炭素ベース、炭化水素ベース、フルオロ及び/又はシリコン油、及び/又は鉱物性、動物性、植物性又は合成由来の溶媒；室温で固体状の脂肪物質、特にロウ、ペースト状脂肪物質及びガム類；水；親水性の有機溶媒；染料；ポリマー；ビタミン類、増粘剤、ゲル化剤、微量元素、柔軟剤、金属イオン封鎖剤、香料、酸性化又は塩基性化剤、防腐剤、サンスクリーン剤、界面活性剤、酸

化防止剤、抜毛防止剤、抗フケ剤、噴霧剤、セラミド類、皮膜形成補助剤、又はそれらの混合物から選択される、少なくとも一の成分を含有している、請求項 10 又は 11 に記載の組成物。

【請求項 13】

体又は顔の皮膚、唇、爪、睫毛、眉毛及び／又は毛髪の手入れ及び／又はメイクアップのための製品、抗日光又は自己サンタンのための製品、又は毛髪の手入れ、トリートメント、成形、メイクアップ又は着色のためのヘアケア製品の形態である、請求項 10 ないし 12 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 14】

請求項 10 ないし 13 のいずれか 1 項に記載の化粧品用組成物をケラチン物質に適用することを含む、ケラチン物質をトリートメントするための美容方法。